

にほんきょうさんとうつしぎだん
日本共産党津市議団

なかの ゆうこ
中野 裕子

録画映像



問 男女共同参画の観点から津クイーン の在り方を問う

津市のPRとイメージアップを担う「津クイーン」は、津市観光協会などで作る運営委員会が主催し、前身の「ミス津」から約70年続く。応募資格は津市在住の18～24歳の女性であり、年齢・性別要件が設けられ、申し込みには身長・体重の記載や全身と上半身が写った写真を求められる。若くなければ、女性でなければ津市のPRができないのか。

答 若い女性に限定せず、誰もが応募できることが望ましい

一般的に団体や企業が行うコンテストやPRのための人材募集の多くが、若い女性だけを対象にしていたり、特にその外見で選ばれていたりすることは、性別や年齢による役割分担意識の固定化や外見のみを重視するといった考え方につながり、好ましい状態とは言えないと考える。津クイーンは民間組織により運営されているため、津市においてその在り方を決定することはできないが、津市の観光をPRするという人物を選ぶに当たって、今の時代の流れに合わせて効果的なPR活動を行える方を性別等に関係なく募集していただければと考える。

その他の質疑・質問

- 津市出会い応援事業について
 - 応援イベント後、成婚数・出生数を把握できないにもかかわらず今後事業を拡大するのはなぜか
 - 行政の仕事は個人の多様な選択を支えること
- 津市役所職員間における給与格差について
 - 管理職の女性の割合を増やすには
 - 会計年度任用職員の給与の底上げを

など

津まつりで和船山車「安濃津丸」に乗る、笑顔の津クイーン



こうめいとうぎいんだん
公明党議員団

あづみ
安積 むつみ

録画映像



問 身寄り無き単身高齢者の人生の 終盤を支える終活支援の考えは

身寄りの無い市民が、生前から自分の望む葬送等の形を決め、安心感を得ることは葬送等における自己実現といえる。市民の命の尊厳を守る意味からも、ここに目を背けず、どう解決するか福祉的視点で捉え、取り組む必要があるのではないかと。自分が亡くなる時にどうしてほしいかを訴え、登録するというような終活支援事業を市で行えば、市民も安心できるのではないかと。

答 市の関わり方など、先進自治体の 取り組みを調査研究している

終活支援事業における望ましい市の関わり方や手法など、先進自治体の取り組みについて現在調査研究している。津市では、高齢者とその家族に対して地域包括支援センターが医療、介護、福祉サービスなどの相談業務を行う中で、相談者自身からお話があれば、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）により、自身の死後に発生する葬儀等について意思を伝えられないことへの不安を払拭できるよう対応している。今後も、高齢福祉課や援護課が中心となって、身寄りがない方や身元不明の方が亡くなった際の葬祭執行など、法に基づく事務を適切かつ丁寧に行っていく。

その他の質疑・質問

- 大規模災害時の医療救護所の設置について
- 健康寿命の延伸と医療費削減の観点から
 - 人工透析予防のため糖尿病治療中断者対策は
 - COPD（慢性閉塞性肺疾患）重症化予防は
- 口腔外傷予防のスポーツマウスガード作製に要する費用の一部補助の考えは
- 指定管理者制度に市民の意見をどう反映するか

人生の最終段階に備え、自らが望む医療やケアについて事前に考える「ACP」（人生会議）



津市在宅療養支援センター提供